

(A) 団体の概要 大和市民活動センターの管理運営	2
(B) 2020年度をふりかえって 事業の実施状況	3
1 ボランティア活動に参加しやすい環境づくりの推進	4
• このゆびとまれっ！	
• ボランティア相談	
2 市民事業、協働事業の推進（補助資料添付）	5
• 市民活動推進補助金	
• 相談・支援	
• 他の機関・組織との関わり	
3 市民活動に関する人材育成及びネットワークの構築	5
• 共育セミナー	
• 市民活動団体交流まつり ～カッコーフェスタ～	
4 市民活動に関する情報の収集や提供	8
• 広報誌 「あの手この手」	
• ホームページ	
• メール便 「ニュースレター」	
• FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～	
• 情報コーナー	
• 電子パネル	
5 市民活動ブース「部室」を含む 市民活動センター管理運営	13
6 市民活動促進の為に 施設及び設備の提供（補助資料添付）	14
7 監査報告書 / 収支報告書	15
• 運営・協働打合せ状況	
• 「拠点やまと」メンバー	

(A) 団体の概要 大和市民活動センターの管理運営

< 拠点やまとの活動理念 >

この会は、『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』に謳われた「新しい公共」を具現化する「協働の拠点」市民活動センターを運営するために設立しました。

多様な価値観に基づいて創出された公共的活動を行う市民、市民活動団体、事業者を支援し共に育ち合える場を提供します。そして、その活動がより効果的に展開され、よりよい「まちづくり」に繋がるように、それぞれが持つ資源の社会への創出を図ることを目的としています。

『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』

第9条 市民等、事業者及び市は、協働の原則に基づき、それぞれの役割分担に応じて、社会資源の充実を図るための協働の拠点(以下「協働の拠点」という)を設置し、その充実に努める。協働の拠点は、原則として市民等がその運営を担う。

新しい公共：市民、市民団体、事業者及び市が協働して創出し、共に担う公共をいう。

< 主な事業構成 >

- (1) 中高校生及びシニア世代に向けたボランティア活動に参加しやすい環境づくりの推進
- (2) 市民事業、行政との協働事業の推進
- (3) 市民活動に関する人材育成及びネットワークの構築
- (4) 市民活動に関する情報の収集や提供
- (5) 市民活動ブース(部室)を含む 市民活動センターの管理運営
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

< 活動年表 >

2004年(平成16年11月)

協働事業として大和市民活動センター設立 「協働の拠点運営委員会」x17委員
(協働推進委員x3名、協働準備会委員x3名、公募市民x10名、事務局長x1名)
事務局： スタッフx4名 「市民活動課」との協働関係スタート。

2008年(平成20年4月) 名称を[拠点やまと]に変更

2008年(平成20年度)補助金交付団体として大和市民活動センターを管理運営

2009~2011年度

(平成21年度~平成23年度) 第1期 協働事業 市民活動課/拠点やまと

2012~2014年度

(平成24年度~平成26年度) 第2期 協働事業 市民活動課/拠点やまと

2015~2017年度

(平成27年度~平成29年度) 第3期 協働事業 市民活動課/拠点やまと

※ 2018年(平成30年度4月) ベテルギウス(旧市立図書館)に移転

2018~2020年度

(平成30年度~令和02年度) 第4期 協働事業 市民活動課/拠点やまと

2021~2023年度

(令和03年度~令和05年度) 第5期 協働事業 市民活動課/拠点やまと

(B) 2020年度をふりかえって

新型コロナウイルスの影響を受け、運営体制も大きく変更せざるを得なくなった。年初の4～6月 市民活動ブース「部室」の閉鎖をはじめ、市民交流スペース（フリースペース）、会議室の使用も出来なくなり「FM やまと」～やまとっこ☆みつけた～ や従来の施設活用も困難な状態となった。

「共育（ともいく）」の方針を貫き、手段は変わり運営に偏りは生じたが、オンライン・ZOOM・PCプログラム等を駆使して市民活動団体などとの切れ目ない発信を続けた。広報紙「あの手この手」、メール便「ニュースレター」なども休むことなく通年行った。付随する印刷使用やロッカー、部室にある資料の搬出入も、スタッフの立ち合いを伴って登録団体の活動を支援し続けた。

「共育セミナー」はZOOM オンラインに切り替え、今期 対面では行えない活動交流まつり「カッコフェスタ」も「2分動画作成」に変更、更に大和市民活動センターHP・YouTubeにアップして内外に向かい積極的に発信できた。

勤務体制も大幅な変更を余儀なくされ、在宅勤務やオンライン会議、リモート操作をいち早く導入して対応した。“業務継続”を柱に今までの経験を活かして個々の業務分担での職務を遂行した。一時的には時間差出勤も組み入れ 業務の停滞も無く行った。この環境下、色々な初めての経験を 逆に 協働事業に取り込める自信も芽生えた。

< 事業の実施状況 >

	「部室」管理	このゆびとまれっ!	電子パネル	共育セミナー	HPメディア	団体交流カッコフェスタ	ボランティア調整	メール便ニュースレター	広報紙あの手この手	市民活動FMやまと	相談・協働	情報コーナー活動広報	窓口業務
4月	*		*	*	○		*	○	○	*	○	*	◎
5月	*		*	*	○		*	○	○	*	○	*	◎
6月	*	*	*	*	○		*	○	○	*	○	*	◎
7月	○	*	○	*	○		○	○	○	*	○	○	◎
8月	○	*	○	○ ZOOM	○		○	○	○	*	○	○	◎
9月	○	*	○	○ ZOOM	○		○	○	○	*	○	○	◎
10月	○		○	○ ZOOM	○		○	○	○	○	○	○	◎
11月	○		○	○ ZOOM	○		○	○	○	○	○	○	◎
12月	○		○	○ ZOOM	○	*	○	○	○	○	○	○	◎
1月	○		○	*	○	*	○	○	○	○	○	*	◎

*新型コロナウイルス感染対策の一環として制限又は中止

(1) ボランティア活動に参加しやすい環境づくりの推進

「このゆびとまれっ！」

中高校生のボランティア希望者と市民活動団体の橋渡しとなる事業

目的：中高生が学校の先生や家族以外の大人と親交を持ち 社会と関わることで多様性を認識する。

成果：新型コロナウイルス感染拡大により「このゆびとまれ」は中止が決定された。

課題：コロナ禍によりボランティア活動にも制限が生じ、例年参加していた団体や福祉施設に出入り制限がひかれた。如何なる形態でのボランティアが可能であるか、今後の大きな課題である。

次年度の市内ボランティア推進、また大和市民活動センター「このゆびとまれっ！」開催に関しては 大和市社会福祉協議会ボランティアセンター、つきみ野学習センターと協議の上で決定したい。

「ボランティア相談」

(1) ボランティアコーディネート

2020年5月、在宅ボランティアを希望（成年女子）

「アダプティブテクノロジー」（パソコン作業が基本のボランティア団体）に繋がった。

(2) シニア世代のボランティア希望者と市民活動団体のマッチング事業

前年度より継続（シニア女性）

デイサービス ハッピー鶴間・生きがい工房上和田 活動内容：話し相手・卓球の準備、補助

2021年1月 在宅PC作業のボランティアを希望（シニア男性）

「アダプティブテクノロジー」に繋がった。

(3) 市民活動課開設「出張！ボランティア総合案内所」共同参加

2020年11月24日（火）25日（水）イオンモール大和において開催。

*その他

- 緊急事態宣言発令による学校休校中 男子高校生からボランティア希望の連絡が入ったが、殆どの団体が活動自粛中であり、不成立。
- 大和市上和田「ギャラリーおがわ」より「柏木学園高等学校短歌書道部」に会場設営補助のボランティア依頼（4月9日:木 シリウスにて開催される音楽会）緊急事態宣言発令中の為、学校側から不参加の返答があり不成立。

(2) 市民事業、行政との協働事業の推進

市民活動推進補助金

市民活動推進補助金応募希望団体へ市民目線でのアドバイスを行った。

◇相談	2 団体
◇協議	1 件

相談・支援

市民活動相談	24 件
市民活動団体支援	46 件
マッチング	4 件
DM 便発送	2,250 通

他の機関・組織との関わり

市民活動推進補助金アドバイザー	関根
綾瀬市市民活動推進委員	関根
綾瀬市きらめき補助金選考委員	関根
神奈川県民サポートセンターCEO ミーティング	望月
NPO法人会計サポートコミュニティ（全国）	関根（各月1回/12～3月）

協力・後援

音フェスタ実行委員会	主催コンサート
NPO 法人地域家族しんちゃんハウス	「はぐくねっと」
大和市社会福祉協議会	書き損じハガキ回収箱、赤い羽根共同募金箱
健康づくり推進課	救急医療情報キット

推薦

- ・ J-Coin 基金 やまと災害ボランティアネットワーク
- ・ 明治ホールディングス「お菓子寄贈」プログラム
サポートハウス ワン・ピース
- ・ 程ヶ谷基金 やまと国際オペラ協会

研修

- ・ ひらつか市民活動センターオンライン体験講座(ZOOM)
7/4 7/11 辺見 関根
- ・ 中間支援センタースタッフセミナー(ZOOM)
10/13 辺見 10/27 吉浜 関根
- ・ イーパーツオンライン講座 12/14 望月
- ・ NPO 法人会計講座(ZOOM) 1/20 2/24 3/24 関根

参加

- ・ ファミリーサービスセンターやまと (FSC) 栄養療法オンライン講座
5/13 望月 櫻井 関根
- ・ 引地川水とみどりの会 ZOOM 報告会&交流会 3/27 櫻井

⇒ 添付) 補足資料：業務日誌からの内容抜粋

(3) 市民活動に関する人材育成及びネットワークの構築

「共育セミナー」 参加者数： 69名

目的：市民、市民団体、事業者が持つ
知恵、経験、技を持ち寄り、共に育ちあう場を提供する。

第90回連続共育セミナー

2020年8月25日(火) 13:30~15:00

NPO法人 みんなのお箸プロジェクト

礼法講師・箸文化講師 平沼 芳彩 さん

箸育(はしいく)講座 ~いつから始める?箸トレーニング~

参加人数： 15名

第91回連続共育セミナー

2020年10月24日(土) 13:30~15:00

引地川水とみどりの会 事務局長 五味 尚生 さん

五味さんのゴミひろい チャレンジな活動 ~引地川の清流を取り戻す!~

参加人数： 12名

第92回連続共育セミナー (4回)

ZOOMを習ってオンライン共育セミナーをのぞいてみよう

初心者 ZOOM講座(各回3名)~大和市民活動センターで遠隔模擬練習~

Part-1 9月24日(木)

Part-2 9月28日(月)

Part-3 10月02日(金)

Part-4 10月07日(水) 各日 13:30~15:00

参加人数： 12名

第93回連続共育セミナー (4回)

ZOOMステップアップ講座

「部屋づくり」側の管理人になってみよう

~自分のパソコンを持って来て、団体代表として発信~

1回につき1団体(3名まで)

Part-1 11月28日(土) 10:30~12:30

Part-2 12月03日(木) 13:00~15:00

Part-3 12月07日(月) 10:30~12:30

Part-4 12月11日(金) 13:00~15:00

参加人数： 12名

第94回連続共育セミナー

カッコフェスタ オンライン交流会

ZOOMで「意見交流会」 3月23日(火) 10:00~12:00

~参加者の みんなが“しゃべり手” みんなが“聞き手”~

1・2月で 活動団体の動画作成

3月は 皆で共有しての意見交換会

動画作成 14団体応募 内9団体が「共育セミナー」参加

参加者数： 18名

(団体11・サポーター1・市民活動課1+大和市民活動センター5)

「市民活動団体交流まつり」

カッコーフェスタ'20 ～活かそう！ひろがりのわ～

(中止) となったが ～新型コロナウイルス影響 共育セミナー第 94 回として復活
「活動紹介・動画作成」に変更してオンライン活用を企画
⇒ 3月23日(火) ZOOM で「動画鑑賞」「意見交流会」

目的: 「登録団体」と「センター」の活動を
多くの市民にアピールする場とする。
参加団体がイベント・ワークショップ等を通じて交流し、
市民活動の PR と共につながり、活動の幅を広げる。

(中止) 日時: 12月13日(日) *10:00~15:00 (新型コロナウイルス影響)

* 本来「ベテルギウスまつり」内の全館合同まつり行事の一端として
大和市民活動センターは **活動交流まつり「カッコーフェスタ」**を企画

場所: ベテルギウス全域 (本館及び北館)

内容: ベテルギウス 一同を介してのお祭りを目指し、
大和市民活動センター の“カッコーフェスタ”を含む
こども・青少年課・シルバー人材センター・スポーツよかみどり財団
各自の趣向を総合した市民まつり。

「カッコーフェスタ」⇒ *第94回共育セミナー 3月23日(火)に変更
大和市民活動センター登録団体の「活動紹介・動画作成」としてオンラインで復活
⇒ ZOOM で「動画鑑賞」「意見交流会」

成果: 手段は異なるが、それなりに団体活動を幅広く紹介できたと思う。
大和市民活動センターHPを開け 登録団体のPRや紹介を兼ねた
YouTube のインデックスを見ることができる。
中間支援センターの一端を担った感じを受ける。

課題: 「2分の活動動画」が「オンライン・ZOOM」を主な手段として
活用したが、やはり輪を広げるためには 技術を広めることが大切。
ZOOM 共育セミナーをする為に4回の補助的 ZOOM 講習をした
と同様に、動画作成にも“活動団体が自作できる環境や技術の習得”
を築く必要がある。

今後の方針: 従来の対面活動の場でもある「活動交流まつり:カッコーフェスタ」を
目指したいが、オンライン・リモートでも 「動画作成」などで市民
活動をPRできることが分かり、これを機に「共育セミナー」「カッコーフェスタ」
だけで単片的に取り上げるのではなく大和市民活動センター
の業務一環として 常時 登録団体の活動を発信できる様にしたい。

(4) 市民活動に関する情報の収集や提供

広報紙「あの手この手」

目的: 「センター」の活動や登録団体の情報、その他市民活動に関する情報を収集し、様々な方法で市民に提供する。

発行部数: 400部
 配布先: 市内公共施設、他市市民活動センター、
 登録団体・個人、配付希望者

実施: 毎月発行

号数	発行日	主な記載内容
153	2020年 4月10日	表紙絵(小4 アメリカ) 大和市民活動センターの2020年度は… チョイといっぴく《補助金団体特集》 「センター」のある日ある時 助成金情報 FMやまと出演
154	5月10日	表紙絵(小4 ナイジェリア) 大和市民活動センターはこんなところ! 助成金情報 「センター」のある日ある時 大和市民活動センター Facebook&Instagram スタッフのつぶやき
155	6月10日	表紙絵(小6 ペルー) 大和市協働事業(行政提案型)を提案しました 登録団体の活動の今を調査しました TUBASA インタビュー「ママスク大和」 助成金情報
156	7月10日	表紙絵(小2 ブラジル) 登録団体の活動の今を調査しました Part2 登録団体 2019年度活動のふりかえり TUBASA インタビュー「大和シルフィード」 助成金情報 スタッフのつぶやき
157	8月10日	表紙絵(小2 アメリカ) 第90回共育セミナーのお知らせ 登録団体 2019年度活動のふりかえり TUBASA インタビュー「やまと災害ボランティアネットワーク」 助成金情報 スタッフのつぶやき
158	9月10日	表紙絵(小4) オンライン(ZOOM)共育セミナー開催報告 チョイといっぴく TUBASA インタビュー「やまと国際フレンドクラブ」 助成金情報 スタッフのつぶやき

159	10月10日	表紙絵（小2） 第91回共育セミナーのお知らせ TUBASA インタビュー「サポーター 尾畑 翼さん」 展示コーナー 初心者 ZOOM 講座開催報告 「センター」のある日ある時 助成金情報 スタッフのつぶやき
160	11月10日	表紙絵（小3 インドネシア） オンライン（ZOOM）共育セミナー開催報告 「センター」のある日ある時 セミナー・イベント・助成金情報 FMやまと出演 スタッフのつぶやき
161	12月10日	表紙絵（小4 ペルー） WEB カッコフェスタの開催のお知らせ ZOOM ステップアップ講座開催報告 「出張！ボランティア総合案内所」を開設 「センター」のある日ある時 セミナー・イベント・助成金情報 FMやまと出演 スタッフのつぶやき
162	2021年 1月10日	表紙絵（小5 スリランカ） FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～特集 展示コーナー FMやまと出演
163	2月10日	表紙絵（小1 ペルー） WEB カッコフェスタ配信 ハイブリッド会議サポートのお知らせ 「センター」のある日ある時 セミナー・イベント・助成金情報 FMやまと出演 スタッフのつぶやき
164	3月10日	表紙絵（中3） 第92回共育セミナーのお知らせ 活動の現場から やまと災害ボランティアネットワーク 助成金情報 展示コーナー イベント情報

- 成果：
- 大学生の協力を得て、登録団体の活動を深く、広報することができた。
 - 長きにわたり登録団体の活動を紹介し、よき理解者であったFM やまとのパーソナリティが退社することをきっかけに「やまとっこ☆みつけた」の総括ができた。
 - コロナ禍においても ZOOM 利用により、記事収集をすることができた。

課題： 登録団体のイベントが激減し、助成金情報の占める割合が多かった。
 今後の方針： 活動の現場取材を進めていきたい。

ホームページの更新

実施： 「H.P.素早い情報」をモットーに更新を日々続けた。

成果： 補助金の情報を数多く載せた事で、それを見た人からの問い合わせや反応が多くみられた。

新型コロナウイルス対策での業務体制の組換え、緊急事態宣言下の設備・備品活用停止時など、また一般の災害時における情報伝達に関して等、市民活動課とのスムーズ連携プレイができた。

今後の方針： SNS（Facebook、Instagram）などを使い、新たな情報提供となる様に努める。

ニュースレター（WEB版）の配信

発信件数： 毎月25日（休館日はその次の開館日）発信
12回（Vol. 182～193）
臨時号 5回（新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応について）

発信対象： センター登録団体・個人、大和市の関連団体・社協等、
周辺都市の市民活動センター、報道・出版・放送関係機関
及び配信希望者

成果： 登録団体・他の団体イベントや助成金情報を毎月発信することができた。
緊急事項に関しては臨時号を配信して対応した。今年度は5回配信。
コロナの感染拡大のため、イベントが少なかったがコロナ対応の助成金についてはホームページ「あの手この手」と連携してできるだけ伝えるようにした。

課題： メールアドレスを登録していない団体もあるので、ニュースレターだけでは登録全団体に情報は伝わらない。
緊急事項のお知らせには適さない一面を持つ

今後の方針： ホームページと連携しながら、よりタイムリーにより多くの団体に有益な情報を伝えていく。
ニュースレターを配信していることを伝え、団体からの情報提供を願う。

マスメディアの活用

「FM やまと」 やまもり☆ホッとスクランブル
大和市民活動センターだより ～やまとっこ☆みつけた～

毎月 第1・3・5火曜日 午前9時～10時

「大和市民活動センターだより やまとっこ☆みつけた」に大和市民活動センターの登録団体が順次出演して活動紹介をした。

2020年4月7日（火）に発出された緊急事態宣言により
4月7日（火）～10月6日（火）までスタジオ入室制限が行われた為、ゲスト出演は休止となり10月20日（火）より再開となった。

成果： 番組出演交渉時から双方の顔が見える交流を始め、打合せ～生放送を経て団体の設立のきっかけや活動の詳細、思いを知ること、支援、協力のポイントが明確になった。
登録団体においては団体紹介、イベントの告知、仲間募集などの呼び掛けだけでなく、コロナ禍での活動の苦勞、活動継続の為に新たな形態を手掛ける等、より深い内容の話をする事で視聴者の共感を得られたのではないかと思う。
放送後にはセンターにこれまで以上に電話などでの番組感想が寄せられた。

今後の方針：

コロナ禍での緊急事態宣言の発出により大和ラジオ放送株式会社（FM やまと）の意向に従い休止。再開・休止が繰り返される可能性があるが、できる限り登録団体の多様な活動を広く周知させ活動の発展に協力したい。

放送回数	6回
出演団体数	6団体（初出演 1団体「ヤマト龍馬会」）
出演団体	2020年10月20日（火）～2021年1月5日（火）
	第371回 引地川水とみどりの会
	第372回 NPO法人 フィット・フォー・マザー・ジャパン
	第373回 一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク
	第374回 コミュニティ・ファーム なないろ畑
	第375回 ヤマト龍馬会
	第376回 大和たんぽぽの会

*スタジオ入室制限の為、
第377回以降の出演予定団体の出演はキャンセル

情報コーナー：登録団体等のチラシの展示

助成金関連情報、子育て関連情報、団体のイベントや会員募集の情報、近隣活動センター広報紙など、できるだけ分野ごとにまとめ、イベントは日にち順になるように展示。

方針に従い、助成金について、展示場所を増やせないか工夫。

また、年間どの様なものがあるか分かる様に年間リストを作成した。

会議室1・多目的室の窓際を利用して掲示

1. 「大和市民活動センター」の表示
2. FM やまとの「大和市民活動センターだより『やまとっこ☆みつけた』」にこれから出演する団体、出演した団体の掲示…今年度は6回のみ
3. 「あの手この手」を拡大掲示
4. やまと国際アートフェスタの作品（はがきサイズ）展示

今後の方針

「市民に分かりやすく情報を発信する」を念頭に置き 展示や掲示をする。

助成金に関して、年間リストを作ったがより分かりやすい形での展示をする。

電子パネル（館入口：会議室予約状況の表示）

電子パネル・モニターを設け、会議室の利用が分かるように設置。

成果： コロナ禍での施設情報を市民団体に素早く伝える事ができた。
施設入口に設置してから数年が経ち、団体が認知する様になる。

課題： 市民活動センター内 PC プログラムでの自動検索・電子掲示板（無線）ではあるが急な会議室の予約・キャンセルなど手動の入力が必要となる。

今後の課題： 会議室等の予約をリアルタイムで更新表示される様に務める。

(5) 市民活動ブース「部室」を含む 市民活動センターの管理運営

目的： 市民活動団体及び市民の 活動支援・場の提供として ベテルギウス館内の
51 部屋を用意する。
大和市民活動センター運営管理の基に、独自の活用と活動の広がりを期待する。

使用形式：「使用申請」に対する「使用許可」形式で行う。
大和市民活動センター運営管理の中の業務として施行する。
市民活動課の料金設定（電気水道代を基準）に従った各部室の使用料金設定。
設備・備品など市の資産活用。

使用できる日時： 9:00～21:00 （年末年始・第3月曜日の休館日以外）

場所：ベテルギウス館 1階及び2階 ＊部屋番号が階を表す

市民活動ブース「部室」使用状況

占有率： 91% （第一四半期閉鎖：施設としての延べ占有率 68%）

101	NPO 法人大和シルフィードスポーツクラブ	102	NPO 法人大和シルフィードスポーツクラブ
103	NPO 法人やまとスポーツマネジメント	104	NPO 法人やまとスポーツマネジメント
105	コミュニティクラブこより	106	パソコン楽々塾
107	大和華道協会	108	NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
109	写真クラブ写遊	110	大和市聴覚障害者協会
111	NPO 法人はあとけあ	112	大和市卓球協会
113	大和市全国県人会連合会事務局	201	結の会
202	（期末現在 空き）	203	おとカワやまとプロジェクト
204	市民劇団 演劇やまと塾	205	一般社団法人 大和青年会議所
206	神奈川やまと古民具・骨董市	207	サークルありんこ
208	Engage3	209	やまと国際オペラ協会
210	ユース・ウインド・オーケストラ	211	（期末現在 空き）
212	大和民謡民舞協会	213	不二デザイン
214	大和地区日中友好協会	215	大和市太極拳協会
216	神奈川探龍倶楽部	217	（一社）やまと災害ボランティアネットワーク
218	健康都市大学	219	こども青少年課執務室
220	切り絵の友	221	健康都市大学
222	破天荒	223	日本ケアトランポリン普及協会
224	大和市子ども会連絡協議会	225	大和市母親クラブ連絡協議会
226	大和市青少年指導員連絡協議会	227	大和リバティライオンズクラブ
228	大和市剣道連盟	229	馬追健康増進会
230	（期末現在 空き）	231	大和絵画会
232	陶和会	233	神奈川県行政書士会大和・綾瀬支部
234	（期末現在 空き：シルフィード予約）	235	大和知的財産権研究会
236	（期末現在 空き）	237	土曜アートサークル
238	泉の会		

(6) 市民活動促進のための施設及び設備の提供

* () 昨年度

登録団体 : 累計 200 団体 (169)

施設、設備、機器の利用状況

会議室	使用度数	会議室 1	270	(397)
		会議室 2	316	(484)
		多目的ルーム	120	(299)
			706 回	(1180)
	使用時間	会議室 1	636	(976)
		会議室 2	963	(1,757)
		多目的ルーム	303	(990)
			1,902 時間	(3,723)
	利用人数	会議室 1	1,201	(3,009)
会議室 2		1,925	(5,093)	
多目的ルーム		298	(1,853)	
		3,424 人	(9,955)	
部室	使用度数		1,453 回	(2,203)
印刷機	使用度数		98 回	(238)
フリースペース (参考)	利用人数 (報告書記録と申請窓口で見られる範囲)		820 人	(17,329)

⇒ 添付) 補足資料・グラフ* : 「記録データ」からの内容抜粋

*2018 年度 (旧図書館に移転後) からのグラフ動向

(7) 監査報告書 / 収支報告書

2020年度に「拠点やまと」が実施した業務について、大和市民活動センター管理運営に関する事業報告書、収支報告書、その他関係種類等の事項について監査を実施した結果、会計処理手続き及び証拠書類などに誤りがなく適正でありましたことを報告します。

2020 年度 大和市民活動センター(拠点やまと) 収支報告書		単位: 円	
期間 (2020年4月1日~2021年3月31日)			
【収入の部】			
	予算 (A)	実績 (B)	差額 (B-A)
A 市負担金	6,959,404	6,960,000	596
B 利用負担金	800,000	491,645	-308,355
施設利用料	470,000	335,700	-134,300
機器利用料	320,000	143,060	-176,940
事業収入	10,000	12,885	2,885
雑収入	0	0	0
C 「部室」使用料	2,000,000	1,521,900	-478,100
部室料金	2,000,000	1,521,900	-478,100
部室関連	0	0	0
D 「部室」繰越金	848,684	848,684	0
【収入合計】	10,608,088	9,822,229	-785,859
【支出の部】			
	予算 (A)	実績 (B)	差額 (A-B)
A 人件費(A 市負担金)	6,178,404	5,913,506	264,898
時給	5,607,006	5,356,646	250,360
有給	258,816	315,680	-56,864
交通費	251,008	198,826	52,182
労働保険	61,574	42,354	19,220
A 管理費(A 市負担金)	781,000	861,488	-80,488
水道光熱費	0	0	0
通信費	120,000	118,294	1,706
事務消耗品費	351,000	332,258	18,742
修繕費	40,000	37,291	2,709
管理諸費	270,000	373,645	-103,645
一般旅費	0	0	0
B 事業費 【B 拠点やまと負担金】	800,000	676,651	123,349
団体活動紹介、交流促進事業費	170,000	58,350	111,650
広報誌発行費(部室紹介号を含む)、情報収集・提供	290,000	378,298	-88,298
中高生、シニア等ボランティアコーディネート費	140,000	62,803	77,197
市民活動、ボランティアセミナー、図書費	200,000	177,200	22,800
C + D 部室光熱水費	2,000,000	1,284,771	715,229
部室光熱水費	2,000,000	1,256,259	743,741
部室関係消耗品購入	0	28,512	-28,512
【支出合計】	9,759,404	8,736,416	1,022,988

実績収入合計	9,822,229
実績支出合計	8,736,416
差額	1,085,813

差額は(C+D収入)-(C+D支出)によるもの
 については、「大和市民活動センターの管理運営」の実施に関する協定書
 第12条(成果の帰属)に基づき、市民活動に利用すべく繰越します。

監査の結果 適正に処理されていることを認め
 ここに報告します。 令和3年 4月 1日

令和 3年 4月 1日
 拠点やまと 会長 望月 則男

監事 小林 仁

*差額 1,085,813 は 2018年度 部室残金 419,850
 2019年度 部室残金 428,834
 2020年度 部室残金 237,129 から生じます。

運営・協働打合せ状況

「大和市民活動センター」受付

月～土曜日 午前9時～午後6時 勤務2人体制
休館日： 日曜日・年末年始（12月29日～1月3日）
毎月第3月曜日（施設点検・ベテルギウス館閉館）

会議 「拠点やまと会議」

開催 毎月第4火曜日（年間12回）
場所 大和市民活動センター
目的 協働事業の進捗打ち合わせ
構成員 拠点やまと、市民活動課

「スタッフ会議」

開催 毎月第1木曜（年間12回）
場所 大和市民活動センター
目的 業務打ち合わせ
構成員 拠点やまと

「拠点やまと」メンバー

会長 望月 則男
櫻井 美紀子
関根 孝子
辺見 弥生
吉浜 学
監事 小林 仁

連絡先

〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL 046-260-2586

FAX 046-205-5788

e-mail : yamato@ar.wakwak.com

URL: <http://www.kyoudounokyoten.com>